

令和4年10月期 業務実績報告書（経営総務課）

一般事項

1 水道料金調定関係

項目	単位	A 当学期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,430	213,604	213,000	213,331	604	273
2 調定水量	m ³	637,676	4,506,608	4,547,000	4,579,328	△ 40,392	△ 72,720
3 調定料金(税抜)	円	171,348,340	1,209,785,000	1,216,000,000	1,225,020,404	△ 6,215,000	△ 15,235,404
4 口振加入件数	件	25,005	175,581	-	175,899	-	△ 318

2 下水道使用料調定関係

項目	単位	A 当学期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	18,950	132,332	132,240	130,192	92	2,140
6 調定水量	m ³	394,283	2,761,226	2,745,600	2,775,033	15,626	△ 13,807
7 調定料金(税抜)	円	62,554,180	438,264,796	433,580,000	438,481,857	4,684,796	△ 217,061

3 給水業務関係

項目	単位	A 当学期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	75,362	-	76,619	△ 1,257
9 給水件数	件	30,234	-	30,239	△ 5
10 開栓処理件数	件	191	1,958	1,781	177
11 閉栓処理件数	件	229	1,884	1,711	173
12 給水工事設計審査	件	62	316	316	0
13 給水工事竣工検査	件	41	453	380	73
14 経年メータ交換	件	502	2,883	2,410	473
15 メータ口径変更	件	3	36	39	△ 3
16 督促状発送数	件	1,419	9,534	9,347	187
17 月末停止件数	件	93	-	86	7

4 排水設備業務関係

項目	単位	A 当学期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	40	236	233	3
19 排水設備工事完了検査	件	25	210	188	22

5 水道料金徴収関係

項目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
20 当年度分	197,560,926円	85.15%	197,278,701円	85.35%
21 過年度分	3,515,274円	98.13%	4,112,510円	97.87%
22 計	201,076,200円	-	201,391,211円	-

6 下水道使用料徴収関係

項目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
23 当年度分	86,345,274円	82.09%	80,676,209円	83.27%
24 過年度分	675,286円	99.14%	764,188円	99.04%
25 計	87,020,560円	-	81,440,397円	-

7 受益者分(負)担金徴収関係

項目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
26 当年度分	4,138,220円	88.97%	4,788,700円	86.43%
27 過年度分	1,938,800円	12.30%	2,343,900円	12.18%
28 計	6,077,020円	-	7,132,600円	-

登米市水道・下水道事業キャラクター



スイちゃん ジョーくん 水守(みもる)さん

特記事項

1. 10月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

・上水道事業

ア 収益的収支

当期の給水収益は188,375千円(税込)で、前月期に比べて7,482千円の減、対前年同月比では1,235千円の増となっています。営業収益は188,868千円、営業外収益は事務手数料や雑収益など5,055千円となりました。特別利益は放射能検査に係る賠償金などとして206千円となりました。

当期の営業費用は委託料や動力費など90,711千円、特別損失は災害復旧費用として6,906千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、加入金として1,122千円の執行となりました。支出は、建設改良費として工事請負費や調査設計費など14,595千円を執行しました。

・下水道事業

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は68,625千円(税込)で、前月期に比べて2,906千円の減、対前年同月比では1,267千円の増となっています。営業収益は68,625千円、営業外収益は、負担金など1,634千円、特別利益として179千円を執行しました。

当期の営業費用は委託料や動力費など94,617千円、特別損失は19千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、ありませんでした。支出は、建設改良費として災害復旧費や工事費など45,643千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 上下水道モニター会議の開催について

10月5日(水)に今年度2回目の上下水道モニター会議を保呂羽浄水場と佐沼環境浄化センターを会場に開催しました。保呂羽浄水場においては川から汲んだ水が飲めるようになるまでの工程について、佐沼環境浄化センターにおいては、家庭などから排出された汚水が浄化され、川に放流されるまでの説明を聞きながら見学を行いました。モニターの皆さんからは「流せるトイレクリーナーや流せる猫砂等が、実際は溶けずにポンプに詰まってしまうことに驚いた。今日学んだことを友人たちに伝えたい」と話していました。



【施設を見学している様子】

(2) 資金管理運用委員会を開催

10月12日(水)に資金管理運用委員会を開催しました。10月20日に2億円の定期預金が満期を迎えることから、今後の資金運用について協議を行い、みやぎ登米農協へ2億円を定期預金することとなりました。

令和4年10月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	841,430	5,906,949	5,700,450	5,852,330	206,499	54,619
総配水量	782,890	5,516,546	5,327,530	5,460,695	189,016	55,851
1 有効水量	684,573	4,874,007	4,903,150	4,893,391	△ 29,143	△ 19,384
(1) 有収水量	641,691	4,537,656	4,577,800	4,608,104	△ 40,144	△ 70,448
(2) 無収水量	42,882	336,351	325,350	285,287	11,001	51,064
2 無効水量	98,317	642,539	424,380	567,303	218,159	75,236
(1) 漏水量	97,853	632,881	420,000	564,522	212,881	68,359
(2) その他無効水量	464	9,658	4,380	2,781	5,278	6,877
3 有収率	81.96%	82.26%	85.93%	84.39%	-3.67%	-2.13%

※ 当月期の最大配水量は、19日（水）に記録した【26,043m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
浄水施設整備事業	6	64,020	5	52,723	0	0	11,297	82.4%
配給水施設整備事業	42	1,093,210	19	597,841	9	50,850	444,519	59.3%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

特記事項

1 大巻取水場樋管清掃を実施

10月5日（水）石越浄水場大巻取水場（石越）への取水樋管（堤防を貫通して設置した暗渠）内と接合井（河川敷に設置したピット）に堆積した土砂の除去作業を実施しました。

この作業は、樋管の閉塞による取水量の低下を防ぐため、樋管に堆積した土砂を取り除き、安定した取水を図ることと施設の点検を目的として行うもので、作業は年2回実施します。



【清掃作業状況】

2 積算システム操作研修会の開催

積算システムの操作能力の向上、理解度を深めることを目的とした積算システム操作研修会を10月24日（月）・25日（火）に実施しました。

研修会は、積算業務初心者向けの初級者編と経験者向けの中級編を実施、延べ16名の職員が参加しました。

参加者は、講師からのシステムの基本操作等の説明を受けながら、実際システムを操作し、工事設計書の作成などを行いました。なお、この研修会は、来年度以降も引き続き実施することとしております。

◎ 漏水調査結果について

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m³/h)
	配水管	44	202.846
	付属施設	0	0.000
	給水装置	51	47.687
	計	95	250.533

【漏水調査結果：4月～10月（累計）】

※参考：漏水削減効果（金額換算）

約1,670,293円/日当たり
算定：R3年度給水原価 277.79円
累計漏水量 250.533m³/h
250.533m³/h×24h×277.79円

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D)		備考
				対前年度 (B)-(C)		
公共下水道(迫・中田・登米・南方)	289,074	2,091,761	1,918,306	173,455		1処理場
特定環境保全公共下水道	52,828	390,066	392,395	△ 2,329		3処理場
米谷・錦織処理区	10,827	79,824	84,316	△ 4,492		
豊里処理区	30,475	227,126	221,667	5,459		
津山処理区	11,526	83,116	86,412	△ 3,296		
流域関連特定環境保全公共下水道(石越)	11,930	88,456	91,428	△ 2,972		
農業集落排水	108,113	834,215	799,495	34,720		24処理場
迫地区	8,369	67,094	70,956	△ 3,863		
東和地区	2,878	20,666	22,045	△ 1,379		
中田地区	30,419	182,691	198,714	△ 16,023		
豊里地区	1,862	14,178	14,242	△ 65		
米山地区	43,168	397,759	351,667	46,092		
南方地区	21,417	151,828	141,871	9,957		R4. 4. 1時点
浄化槽(特地・個排)	43,324	306,202	295,658	10,544		2,015基
合計	505,269	3,710,700	3,497,282	213,418		

※各処理場ごとの処理水量及び有収水量などの内訳は、別紙登米市下水道施設等維持管理状況報告書を参照。
※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	13	532,766	2	242	0	10,335	522,189	2.0%
ポンプ施設整備事業	1	25,000	1	23,100	0	0	1,900	92.4%
処理施設整備事業	82	342,224	29	162,931	28	37,763	141,530	58.6%

※金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計金額を記載。件数は、更新工事を除いた件数を記載。

特記事項

1 下水道処理施設の放流水の水質検査を実施

令和4年10月19日に東和町米川地区・中田町石森地区・中田町弥勒寺地区・中田町大泉地区の農業集落排水処理施設において、宮城県石巻保健所による下水道処理施設の放流水の水質検査が行われました。

今回の検査において、4地区の処理施設の放流水は全て水質基準値内となっており、処理施設における汚水の処理状況に異常は見られませんでした。



【水質検査の状況】

○浄化槽整備事業受付状況
(10月末現在)

予定件数	受付件数	残件数
80	73	7

2 迫町大東地区雨水排水路築造工事完了(R3繰越分)

令和4年10月31日に迫町大東地区雨水排水路築造工事が完了しました。この工事は、迫町大東公園周辺の内水処理の対策として令和元年度より工事着手しており、令和3年度繰越工事においては、函渠工(L=179.51m)を整備しました。